

交通事故のない楽しい夏を過ごしましょう！ ～夏の交通安全運動「サマー作戦」～



安全運転を呼びかける越善村長

夏の交通安全県民運動期間（7月21日～7月31日）の7月22日に、東通村交通安全対策協議会（会長：越善靖夫村長）による夏の交通安全運動「サマー作戦」が、国道338号線（砂子又地区）にて実施されました。

サマー作戦実施に先立ち、越善村長より「村では夕暮れや夜間の交通事故を防ぐため、街路灯の設置を進め、また、道路沿いへののぼり旗の設置や高齢者への反射材配布などの活動を実施しております。本日の街頭運動を通じ、運転者へ安全運転を啓蒙していきます。

「ましよう」と挨拶があり、同協議会役員やむつ警察署、村交通安全母の会、むつ地区交通安全協会、むつ地区交通指導隊東通支隊など約30人が、ドライバーの皆さんに安全運転を呼びかけました。

夏は車の利用が多く、また、子ども達も外で遊ぶ機会が多くなります。ドライバーの方はもちろんのこと、歩行者の方も車に十分気を付け、交通事故のない楽しい夏を過ごしましょう。



多くの方々に参加いただき安全運転を呼びかけました

平成25年 夏の交通安全県民運動

- ①子どもと高齢者の交通事故防止 ②自転車の安全利用の推進
③飲酒・暴走運転の根絶

過去5年の統計で、7月～8月は子ども（中学生以下）の交通事故死傷者の数が最多。また、自転車利用中の事故も多く発生し、飲酒運転による事故も8月が最多となっています。一人ひとりが交通ルール・マナーをしっかりと守り、交通事故防止に努めましょう！